

環境レポート 2026

(株)矢野特殊自動車
品質保証部 柴田

1. はじめに

矢野特殊自動車は環境負荷の低減を経営の社会的使命と位置づけ、地球環境の保全を目指し、全社員が環境負荷の低減に積極的に取り組んでいます。

事業活動に伴い発生する環境側面を十分に抽出し、環境目的・目標に展開し、環境保全対策、汚染予防を実行し、定期的な見直しを行い、環境パフォーマンスを維持し、その改善に結び付けられるように、環境マネジメントシステムの継続的改善をはかっています。

また、カーボンニュートラルの実現を社会的使命と捉え、全社でプロジェクト活動を展開しておりま

2. 二酸化炭素排出量削減

地球温暖化を抑制する為二酸化炭素排出量の低減に取り組んでまいります。

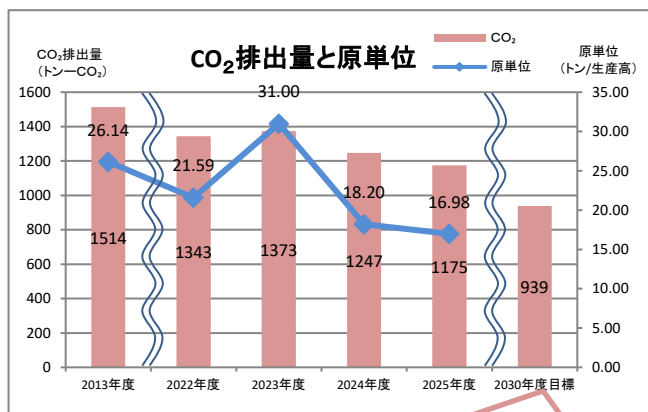
福岡県のエコ事業所に登録し、電気使用量の削減に向けた取り組みや営業車をハイブリット車等の低燃費車に代替えし、エコ運転の徹底で自動車燃料使用量の削減に向けた取り組みを推進してきました。

当社の二酸化炭素排出量の72%は、購入電力がしめています。

2026年度からは太陽光パネル導入を実施してまいります。第1期工事として、サービス工場天井に設置致

更に2022年度から、CNプロジェクトを全社で5チーム編成し、ガソリン・灯油・軽油・LPGの削減を推進しています。

同プロジェクト活動の成果もあり、2025年度はCo2排出量を減少させる事が叶いました。



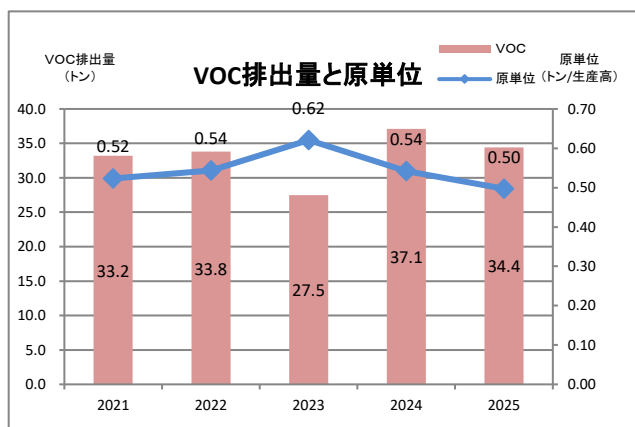
2013年度をベースとし38%削減した排出量

3. 揮発性有機化合物(VOC)削減

浮遊粒子状物質(SMP)や光化学オキシダントによる大気汚染や健康被害が数多く届出されています。

SMPや光化学オキシダントの原因の一つに揮発性有機化合物(VOC)がありますので、当社ではトルエン、キシレンの含有量の少ない塗料やシンナーに変更し削減の取り組みを進めています。

作業中の揮発性有機化合物(VOC)の揮発を極力少なくするため開缶時間を最短にしています。



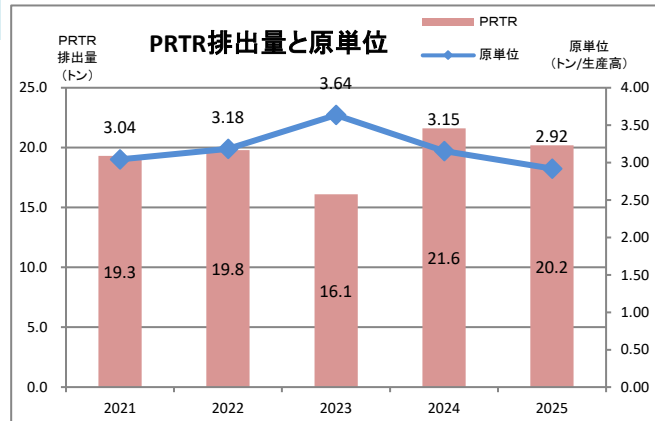
4. 環境負荷物質(SOC)削減

地球環境保護のため、人の健康に害を及ぼす環境負荷物質削減に取り組んでいます。業界団体である日本自動車車体工業会の「環境負荷物質自主取り組み基準」に基づいた環境負荷4物質(SOC:カドミウム・鉛・水銀・六価クロム)のフリー化を達成しています。工場では鉛を含まない塗料への変更や、六価クロムを含まないメッキの採用等が実施されています。また、2020年からの水銀の使用規制に対応するため、工場棟の水銀灯のLED化を推進してきました。

5. 化学物質排出量の把握(PRTR)

PRTR法に基づき指定化学物質の排出量を管理するとともに削減に取り組んでいます。

当社で使用しているものはトルエン、キシレン等4種類の物質が該当します。トルエン、キシレンの含有量の少ない塗料やシンナーに変更し削減の取り組みを進めています。



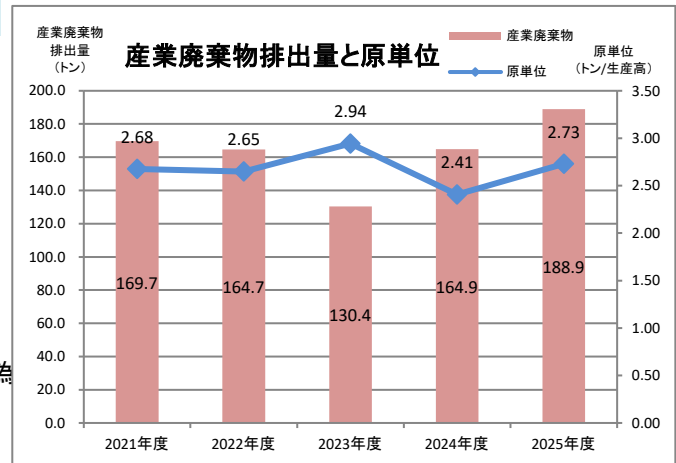
6. 産業廃棄物削減

当社では3Rを重要課題と位置づけ、省資源、リサイクルを積極的に推進しています。

- ① Reduce (リデュース) 省エネ、省資源、廃棄物削減、環境負荷低減
- ② Recycle (リサイクル) 再資源化
- ③ Reuse (リユース) 再使用

廃棄物はそれぞれスクラップ、産業廃棄物に細かく分類されています。

2025年度に産業廃棄物が増加したのは、灯油削減の為に焼却炉を廃炉したことによるものです。



7. 地域ボランティア活動

毎月1回「環境整備の日」を設け、全従業員が工場内外の環境整備を実施しています。

それに合わせ、工場近辺の道路清掃活動を積極的に実施しています。



最寄り駅までの公道を清掃します。



工場前の公道を清掃します。